

体育科

教科等における情報活用能力



【2年生「バスケットボール」】

シュートの様子を撮影し、フォームの改善点を話し合う。自分の動きを映像として観ることができるので、改善点を意識しやすくなる。【知識・技能】

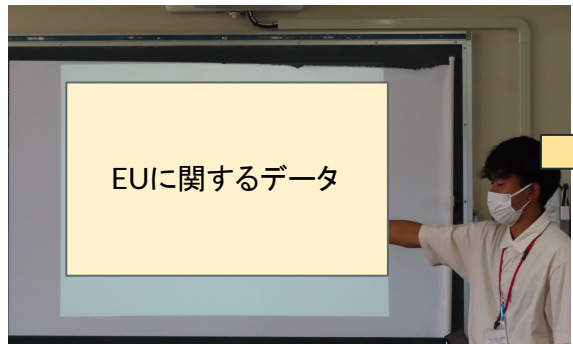


【2年生「ハンドボール」】

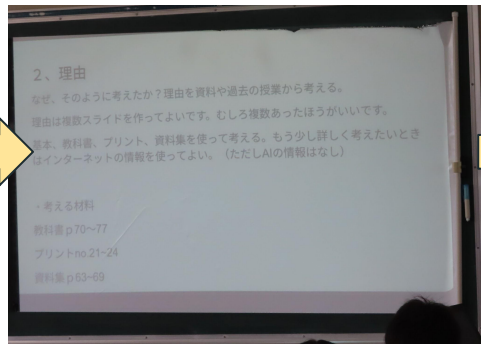
「自分の技量」「相手やボールの位置」「空いている場所」といった情報から、どう動いたらいいかを瞬時に判断している。【思考力・判断力・表現力等】

シュート練習では、自分の技量を高めるために端末で撮影し確認する。また、ゲームでは目まぐるしく状況が変わる中で、フィールド内の情報を収集、整理・分析し、自分のプレーに生かしている。

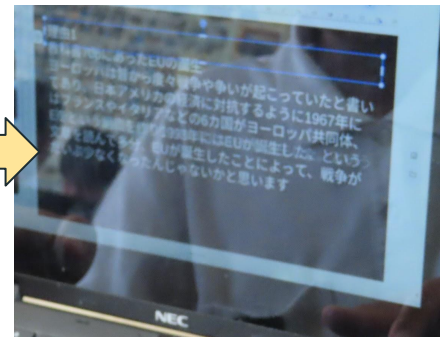
【1年生「EUの課題と今後を考える」】



教師がEUの現状を全体で共有する。



自分の考えを構築する際に、教科書、資料集、過去の授業を参考にしてもよいことを伝える。



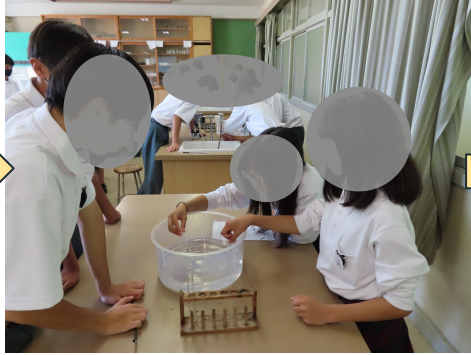
生徒は収集した情報を基に自分の考えをスライドに表現する。
【知識・技能】【思考力・判断力・表現力等】

社会的事象について理由を考える時は、複数のデータを統合してまとめていくことが必要である。データや資料から収集した情報を基に、端末を活用しながら自分の考えを構築していくことが、情報活用能力を基盤とした社会科の学びと言える。

【1年生「置換法」】



置換法について、どのように実験をすればよいかを端末で資料を検索しながら話し合う。



話し合ったことを基に実験をする。【知識・技能】

気づき		
水上置換法		
7班 水と気体を置き換えて	1班	4班
8班 水と息を置き換える	2班 空気は上に行くから試験管の底を上を持ち上げる	5班
9班	3班	6班 試験管を水の上に持ち上げると空気が入っていく

実験結果から置換法について考えたことを端末に記入し、共有する。【思考力・判断力・表現力等】

水上置換法について、気体の集め方を考え、実験結果を整理していく。収集した情報(実験結果)から、集めることができる気体は水に溶けにくいという性質を有していることに気付いている。

英語科

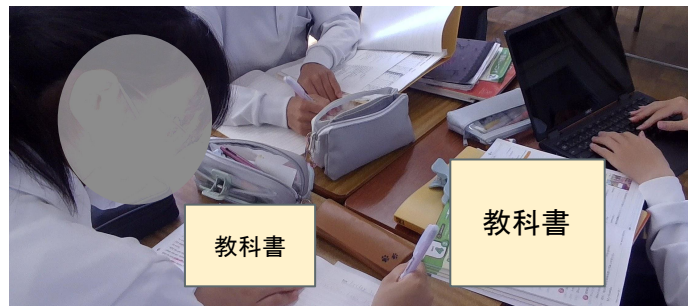
教科等における情報活用能力

This is my English teacher. He's twenty-six years old. He is from the U.K. He lives in Suzuka. He studies Japanese hard, so he can speak Japanese well. He watches Japanese anime in Japanese! He likes watching soccer very much. He is a big fan of Liverpool.

構成は教科書p62-63を参考にする

【1年生「天栄中の先生を紹介しよう」】

先生について知っていることを英語の文章に表し、紹介文をつくる。英単語については事前に学習し、紹介文の構成は教科書を参考にしている。【知識・技能】



【2年生「Unit4の中間確認をしよう」】

単元の前半が終了したところで、自分が学んだことを、仲間と整理している。ここで自分がどこまで学んだのかを自覚し、単元後半の学びにつなげる。【思考力・判断力・表現力等】

英単語を調べ、その調べた単語を使って文章を構成していく過程で情報活用能力が発揮されている。文章を構成する過程を何度も経ることで、英語表現がより自分の伝えたいことに洗練されていく。教科書を参考にし、仲間とアウトプットし合うことも英語における資質・能力の育成に重要である。



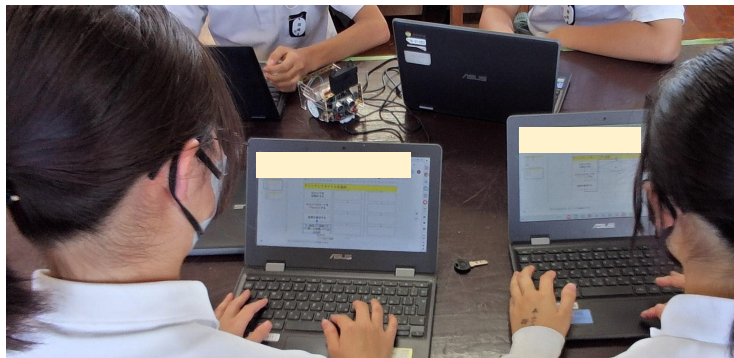
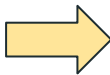
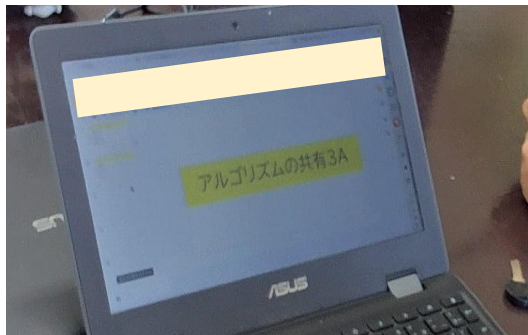
【3年生「自画像アートボード」】

仲間と対話しながら、自分の表現を具体的なものとしていく。お互いに端末の画像を見合うことで、イメージの交流がしやすくなる。



端末で自分の描きたいイメージに合う見本(画像)を検索する。または、見本を見て自分のイメージのきっかけをつくる。【知識・技能】

自分の学びたい相手(仲間、教師等)を選択し、その人と対話する中で自分の描きたいイメージを膨らませていく。さらにそのイメージを具現化するために、端末を使ってイメージに合う画像を探し、自分が表現するための参考にする。



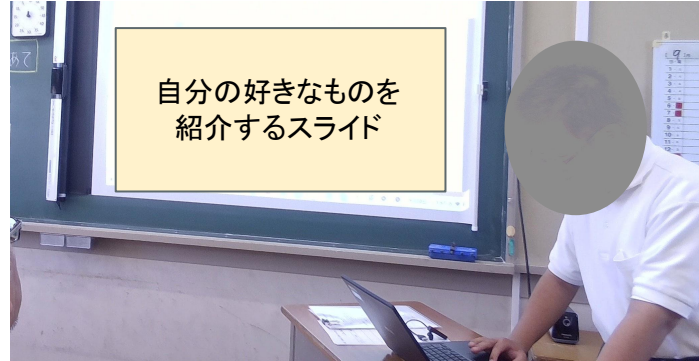
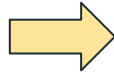
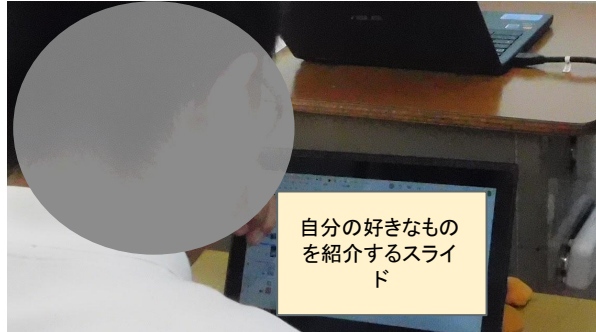
【3年生「情報の技術」】

まずは学級全体でアルゴリズム（AIが問題を解決するために行う一連の手順やルール）の共有を行う。

どのような手順でAIに命令すれば問題解決できるのかを考える。難しい場合は仲間と相談しながら行う。【学びに向かう力・人間性等】

一定の命令（アルゴリズム）を入力し、そこから得られた情報をフィードバックし、AIカメラやセンサーを活用して課題を解決しようとする。また AIを活用していく中で、AI自体が学習することや誤認識することもあるといった AIの特性も理解している。

教科等における情報活用能力



「自分のことを知ってもらおう」

自分の好きなものについて、相手に伝えることを意識しながらスライドにまとめていく。【知識・技能】

まとめたスライドを基に、自分の好きなことが相手に伝わるようにクイズ形式にする等して発表している。【思考力・判断力・表現力等】

活動を通して、「表現・発信・伝達」するための情報手段の適切な活用に含まれる具体的な技能を身に付けている。

情報活用能力の育成には、情報を入力するための基本的な操作や、伝えたい内容を明確にして視覚的な構成や表現を工夫といった「情報活用の実践力」も必要である。